



SORACHI

V E N E E R

SV DiaFloor J Series

SVダイヤフロアJシリーズ

北海道の風土に育まれた
環境と身体に優しい木質床材です。

空知単板工業株式会社

スポーツフロアから文教フロアの、
あらゆるシーンで[国産材100%]が活躍する
【Jシリーズ】をラインナップしました。
安心の日本国内工場生産・管理された
ハイクオリティ床材をご提案致します。



[国産材100%]
許諾番号 S00002
使用許諾者 一般社団法人
日本フローリング工業会
「国産材マーク」は日本プロ
ジェクト産業協議会の登録商
標です。
(登録第5598999号)
<http://www.yoneda-masa-ko.com/shinrinmark/>

日本国の森林面積は約2,500万ヘクタール(平成24年)と国土面積(約3,800万ヘクタール)の約3分の2に相当し、世界でも有数の森林国です。
森林資源(蓄積)は約49億立方メートルであり、その約6割を人工林が占めており、毎年1億立方メートル程度成長しています。

「拡大造林政策」から成長した木材が利用可能になっていながらもかわらず、外国産木材の輸入量増加や日本国内の林業採算性低下により、国産材供給量は国内全体における木材需要量の約30%弱に留まっています。

適切な森林管理(「間伐」といった手入れ等)を怠ると、立木の中に日光が差し込まれず下草が生えずに土壌が失われ、土砂崩れの原因となったりします。また、新しい木が生えたり、植林できずに高齢の木々ばかりとなり、二酸化炭素の吸収量が低下するなど、森林の持つ多面的機能の低下につながり、生命の危機にも直面します。

健全な森林の育成とともに住みやすい環境と資源を持続的に得る為には、人工林で育った国産材を私たちがこだわりを持って、積極的に利用することが必要です。

私たち空知単板工業は、日本国内に豊富にある資源「木材」の活用を目指し、原材料の産地、生産工場を「日本国」にこだわり国産材を積極的に活用した商品の設計・製造・販売を行ってきました。

2011年から取り組んできたシラカバプロジェクトに加え、床材に使用する原料(表面材、基材合板)を国産材にこだわり、2014年に国産材マーク推進会(日本経団連傘下のJAPIC林業再生事業化委員会)より[国産材100%]の認定を取得しました。

シラカバは・・・

北海道や長野県に分布する、高原を代表する白い樹皮が特徴のカバノキ科カバノキ属の落葉広葉樹です。酸性土壌を好む天然更新型で、生命力が強く適正伐期齢は40年。材質は堅く、木目が美しいことから家具用材として利用されてきました。また、樹液は人工甘味料キシリトールの原料となり、含有成分に人の表皮の保湿促進効果があることから、化粧品にも利用されるなど用途は多岐に亘ります。
シラカバ表面柄の特徴は、他の樹種と比較して「カスリ」が多い事です。これはシラカバ特有のキャラクターマークで「ミネラルスポット」と呼ばれるものです。



カスリ

SVダイヤフロア Jシリーズ

SVダイヤフロア Nライナー18(サスティナ)J

用途 **運動施設**
軽運動施設

施工方法 **ノリ釘併用工法**

ササクレス
SASAKULESS
対応可能です

施工方法：ノリ釘併用工法
樹種：北海道産カバ・シラカバ・ナラ
(表層6mmマイクロフィンガージョイント)
基材：JAS国産針葉樹構造用合板(北海道産)
寸法：t18mm×135×1,800
仕上：無塗装品(現場塗装用)
クリアー塗装品(糸面取り加工付き)



SVダイヤフロア Sライナー18(サスティナ)J

用途 **運動施設**
軽運動施設

施工方法 **ビス留め直張り工法**

ササクレス
SASAKULESS
対応可能です

施工方法：ビス留め直張り工法
樹種：北海道産カバ・シラカバ・ナラ
(表層6mmマイクロフィンガージョイント)
基材：JAS国産針葉樹構造用合板(北海道産)
寸法：t18mm×445×1,800
仕上：無塗装品(現場塗装用)



SVダイヤフロア Eフローリング(タイプD/タイプN)ーJ

用途 **運動施設** **文教施設** **集会施設**
(タイプNのみ) **高齢者施設**

施工方法 **直張り接着** **ノリ釘併用工法**
(タイプD) (タイプN)

施工方法：タイプD-直張り接着工法
タイプN-ノリ釘併用工法
樹種：北海道産カバ・シラカバ(表層2mm/3mm)他
基材：JAS国産針葉樹構造用合板(北海道産)
寸法：t15.5mm×90×900
仕上：クリアー塗装品(面取り加工付き)
※体育館等の現場塗装用として、無塗装品(面無し)も
対応可能です。



本製品は「JAS複合フローリング」です。
上記仕様の他、「特注品」や「地材地消」対応も可能です。上記【Jシリーズ】の表面材が輸入品の場合には[国産材60%以上]の認定になります。

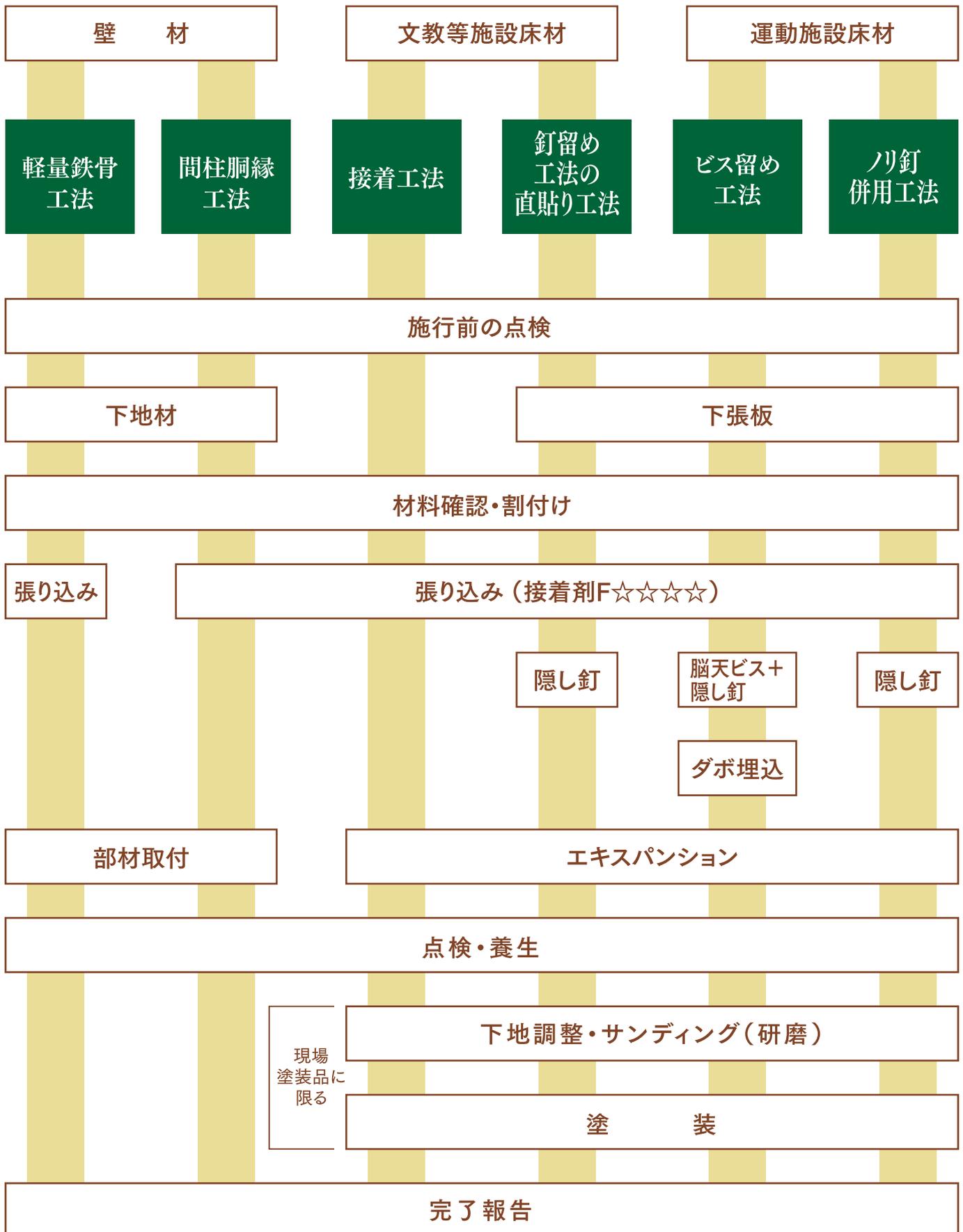


[国産材60%以上]
許諾番号 T-00001
使用許諾者 全国天然木化粧合板工業協同組合連合会

特注対応が可能です。
お気軽に弊社にお問い合わせ下さい。

注意事項 天然木の為、表面材の色柄には個体差があります。絶えず水のかかる場所や高温多湿な場所はお避け下さい。改良の為、予告なく仕様を変更する場合があります。

施工要領フローチャート



完了報告

工事の全てが完了したら監理者または総合施工業者立ち会いのもとで検査を受けて下さい。床の水平精度は±5mm以内とします。但し、局所的な固定部(出入口等)からくる制約による誤差は除きます。また柔道場の畳部分は除くものとします。

安全管理

労働安全管理及びその他安全に関する諸規定に則り管理し、現場の作業規則を厳守して下さい。
工事上の安全については、あらゆる災害防止の基本事項を関係作業員の末端までその趣旨を徹底し、作業員自覚の上安全作業に努めて下さい。

[安全管理事項]

- (a)保安帽等の必要な場合必ず着用して下さい。
- (b)毎日行われる現場での朝礼には必ず参加し、注意事項、通行禁止箇所等の連絡事項を厳守し安全に努めて下さい。
- (c)機械工具の点検並びに始業点検を行い、手元足下に注意し安全に努めて下さい。
- (d)煙草は、指定場所以外では吸わないで下さい。
- (e)火気使用の場合は、作業終了時に後始末の確認をする。
- (f)作業終了時には整理整頓の徹底を計り周囲の清掃を行って下さい。
- (g)木屑等、施工で発生する廃材は現場で定められた場所へ都度捨て、整理清掃に努めて下さい。
- (h)その他の安全管理については、現場にて定められた安全規則、就業規則を厳守し、指導徹底に努めて下さい。

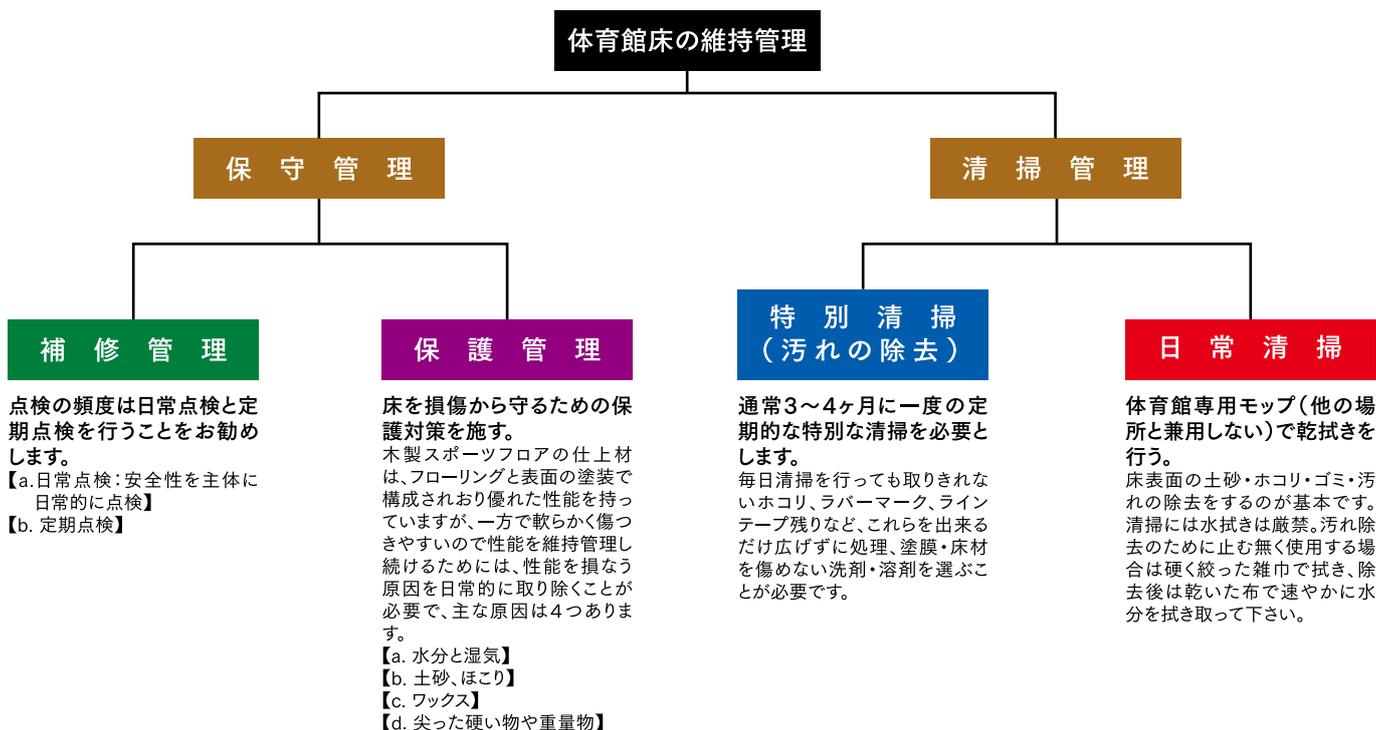
スポーツフロアの維持管理について

体育館の機能の中で、床の持つ役割は最も重要なものです。木製床はスポーツ用として最適であるといわれており、現在大部分のスポーツフロアには木製床が使われています。しかし、床の施工が完全なものであっても、その後の維持管理を怠ると床の性能が低下し、寿命が短くなるだけでなく、すべりや破損を放置しておくとかガなどを招き大変危険です。従ってスポーツフロアの維持管理は体育館の管理の中でも特に大切なものであるといえます。スポーツフロアの維持管理は、問題が発生した時に専門業者に補修を依頼すればよいというものではなく、事故を未然に防ぐために施設を適切に使用し、点検し、異常が発生した場合は早期に補修するということが大切です。

維持管理の基本

- ① 清潔であること
- ② 床表面の光沢・すべり等をスポーツを行う最適な状態に保持すること
- ③ 破損及び摩耗箇所が放置されていないこと

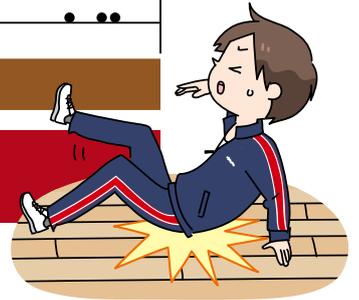
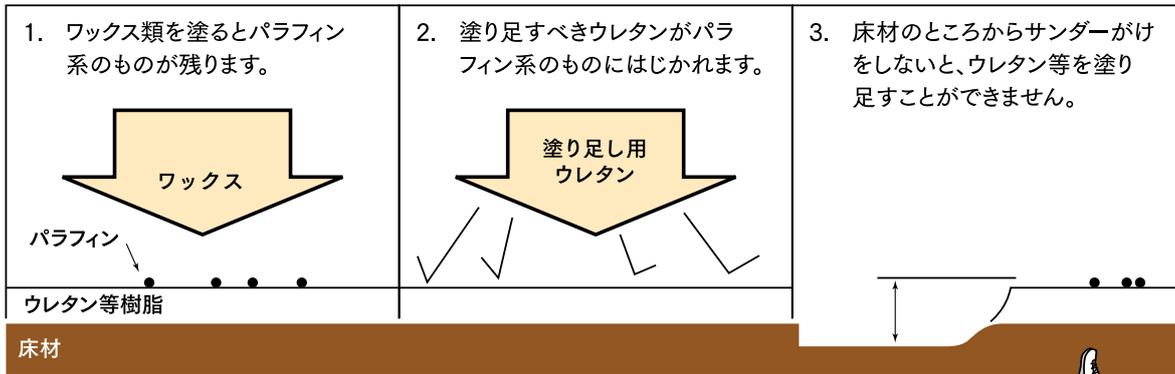
維持管理の分類



注意事項として

- 体育館専用モップを他の場所と兼用しないのは体育館フロアへの油分等の持込を防ぐ為です。
- 化学モップ(帯電防止剤処理)には滑りやすい化学処理をしたものがあります。
- 体育館の床面に湿気がある場合、モップを押しにくくなる場合があります。湿気のある梅雨時などは、注意して清掃して下さい。
- モップ拭きの作業中にモップ糸がフローリングに引っ掛かった際には、強い力で無理に引き離さず、静かにからみを取り除いて下さい。強い力で引き離しますと、傷めたキズを大きくしてしまう恐れがあり、危険です。

体育館の床へのワックス類の使用は、次の理由によりさけて下さい。



ご注意ください!!

各種ワックスが市販されておりますが、絶対に使用しないで下さい。

一 口 × 毛

木製床材は含水率の変化により伸縮しますが、体育館の床材では下地材などにより伸縮が拘束され、また床の表と裏での条件が異なるとその性状は複雑になりますので、木製床材の狂いを防ぐためには“**床各部の含水率を一定の値に保つこと**”が大切になります。

特に建設当初は伸縮が大きくなりがちですので、床下の温湿度環境はなるべく室内側の状態に近づけることが望ましく、床下の換気や通風が重要になります。

一 口 × 毛

ポリウレタン塗料はスポーツに適したスベリ係数：C.S値0.5～0.8で設計されていますので、日常清潔を維持することで特にワックスを塗る必要はなく、一度ワックスを塗ってしまうとその上に塗料を塗れませんので、再塗装の際にはワックスの洗浄剥離作業が別途加わり費用も割高になります。

一 口 × 毛

天然木だからおきること

隙間については木材は空気中の湿度が高いと湿気を吸収して伸び、乾燥してくると湿気をはき出して縮む性質があります。年間の湿度・温度の変化、空調・暖房器具の使用頻度、日当たりの良し悪し等のさまざまな条件によって、フローリングのつなぎ目部分で若干の隙間が開いてくる場合があります。



©製造・販売元

空知単板工業株式会社

[本社] 〒079-1286 北海道赤平市平岸西町3丁目12番地

非住宅事業部

[砂川工場] 〒073-0157 北海道砂川市三砂町1番地
TEL.0125-54-4330 FAX.0125-54-4332

[東北営業所] 〒020-0111 岩手県盛岡市黒石野2丁目20番11号
TEL.019-663-4350 FAX.019-663-4351

SORACH
VENEER



www.sorachitanpan.com